

報道関係各位

平成30年2月26日
(一財) みなと総合研究財団
(一財) 港湾空港総合技術センター

第5回「ブルーカーボン研究会」開催のご案内

現在、1992年に採択された国連気候変動枠組条約に基づき、世界各国で地球温暖化への対応が本格化しています。その主要な対策の一つとして吸収源対策が位置付けられていますが、森林等の吸収源に加えて、沿岸の藻場やマングローブ林を中心とした海洋生態系が吸収・固定する「ブルーカーボン」が新たな吸収源として注目されています。

このような動きを受けて、みなと総合研究財団と港湾空港総合技術センターでは、2017年2月に「ブルーカーボン研究会」を立ち上げ、「ブルーカーボン」に関する課題を明らかにするとともに、藻場等の拡大に向けた持続的な取組を行うための枠組等の検討を行って参りました。

国土交通省港湾局、水産庁及び環境省にオブザーバーとしてご参加いただき、本年度は、ブルーカーボンの活用に向けた現状と課題の抽出を行い、その対応策について検討することといたしております。

下記のとおり開催する第5回研究会では、ブルーカーボンのCO₂吸収量の見込みの試算結果や、実海域における今後の取組との連携について検討を行います。

記

<第5回ブルーカーボン研究会>

1. 日 時：平成30年3月5日（月） 16:00～18:00

2. 場 所：AP 新橋虎ノ門 11階Bルーム

（東京都港区西新橋1-6-15 NS 虎ノ門ビル）

3. その他：研究会は非公開にて行います。

カメラ撮りは冒頭のみ可能です。また、研究会終了後に座長から検討結果についてブリーフィングを行います。

※取材をご希望の方は、3月2日（金）17:00までに申込書（別添）をFAXまたはメールにて送付ください。

【問い合わせ先(研究会事務局)】

(一財)みなと総合研究財団 高野、菅木(ちさき)

TEL 03-5408-8298 FAX 03-5408-8741

E-mail koyuken@wave.or.jp